

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月11日

神奈川県知事 殿

提出者

住所 神奈川県秦野市平沢65番地

氏名 株式会社 KMCT
工場長 山岡 清太

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0463-82-3111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 KMCT 秦野工場		自主管理事業登録番号 (1084)
事業場の所在地	神奈川県秦野市平沢65番地		TEL(連絡先):
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年間)		
当該事業場に関する事項			
① 事業の種類	E23－非鉄金属製造業	(具体的には) 239 その他の非金属製造業	
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	57,710 百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	269人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	<input type="checkbox"/> 汚泥→焼却又は、脱水→埋立又は、再資源化 <input type="checkbox"/> 廃油→焼却又は、油水分離→再資源化又は、助燃材 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ→中和→再資源化 <input type="checkbox"/> 廃プラスチック→焼却又は、選別・破碎→埋立て又は、再資源化、助燃材 <input type="checkbox"/> 木くず→選別・破碎→再資源化 <input type="checkbox"/> 金属くず→破碎→再資源化、助燃材 <input type="checkbox"/> 複合材→破碎⇒再資源化、助燃材 <input type="checkbox"/> ガラス、コンクリート、陶磁器くず→破碎→埋立又は、再資源化 <input type="checkbox"/> ガラス、コンクリート、陶磁器くず→管理埋立		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)								
【工場長】⇒【EMS管理責任者】⇒【事務局(総務室)】⇒【各部署】								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
① 現状	<p>【前年度(令和 5 年度)実績】</p> <table> <tr> <td>産業廃棄物の種類数</td> <td>8</td> <td>種類</td> <td rowspan="2">* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。</td> </tr> <tr> <td>① 排出量</td> <td>1,863.6</td> <td>t</td> </tr> </table> <p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各工程から発生する設備廃油(廃油)を所内中間処理施設(廃液蒸発蒸留装置)により減量。 ・鉄くず・廃特殊鋼・廃非鉄金属の有価売却/専ら物にて処分。 ・ドラム缶入り廃油の一部を再生重油原料として売却。 	産業廃棄物の種類数	8	種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。	① 排出量	1,863.6	t
産業廃棄物の種類数	8	種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。					
① 排出量	1,863.6	t						
<p>【(令和 6 年度)目標】</p> <table> <tr> <td>産業廃棄物の種類数</td> <td>8</td> <td>種類</td> <td rowspan="2">* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。</td> </tr> <tr> <td>① 排出量</td> <td>1,970.1</td> <td>t</td> </tr> </table> <p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃液蒸発蒸留装置による廃油自社中間処分を継続。前年度比プラスの減量を目指す。 ・廃液蒸発蒸留装置の廃油ビット液量管理自動化により、装置稼働日を増やし更なる減量を目指す。 ・不要物の有価売却化の促進。 	産業廃棄物の種類数	8	種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。	① 排出量	1,970.1	t	
産業廃棄物の種類数	8	種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。					
① 排出量	1,970.1	t						
産業廃棄物の分別に関する事項								
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で運用中の分別、破棄、マニュフェスト運用に関する社内規定の適宜見直し。 ・内部コミュニケーションによる情報共有の徹底。 							
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・上記記載内容の継続及び、内容の充実化。 							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
	【前年度(令和 5 年度)実績】						
	(②+⑧) 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。			
(これまでに実施した取組)							
① 現状							
	【(令和 6 年度)目標】						
② 計画	(②+⑧) 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。			
	(今後実施する予定の取組)						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
	【前年度(令和 5 年度)実績】						
	(⑤) 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。			
① 現状	(⑦) 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	768.0	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。			
	(これまでに実施した取組)						
・設備廃液(廃油)の蒸発蒸留装置による減量を実施。油水分離/蒸留した処理水を工業用水として再利用。							
	【(令和 6 年度)目標】						
② 計画	(⑤) 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。			
	(⑦) 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	806.4	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。			
(今後実施する予定の取組)							
・廃油保管系統から蒸発蒸留装置への廃液移送を、手動操作から自動操作へ切替え、週末の連続稼働させて、更なる減量化を目標とする。							

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【(令和 6 年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t * 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	1,095.6	t * 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	455.7	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,040.0	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
(これまでに実施した取組)			
<p>・コロナ渦により見送っていた委託契約業者への現地確認を再開する。 ・書類上の確認事項は適宜実施。 ⇒廃棄実績と締結した委託契約書内容との整合 ⇒各委託契約業者の許可証写しの適正保持。</p>			

【(令和 6 年度)目標】			
② 計画	⑩ 全処理委託量	1,163.7	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	477.4	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,107.6	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定処理業者への処理委託を推進していく。 ・委託契約業者への現地確認を再開し、中間処分又は最終処分先までのフォローをする。 			
※ 事務処理欄			

* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。

備考

- 1 この様式は、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあっては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和6年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

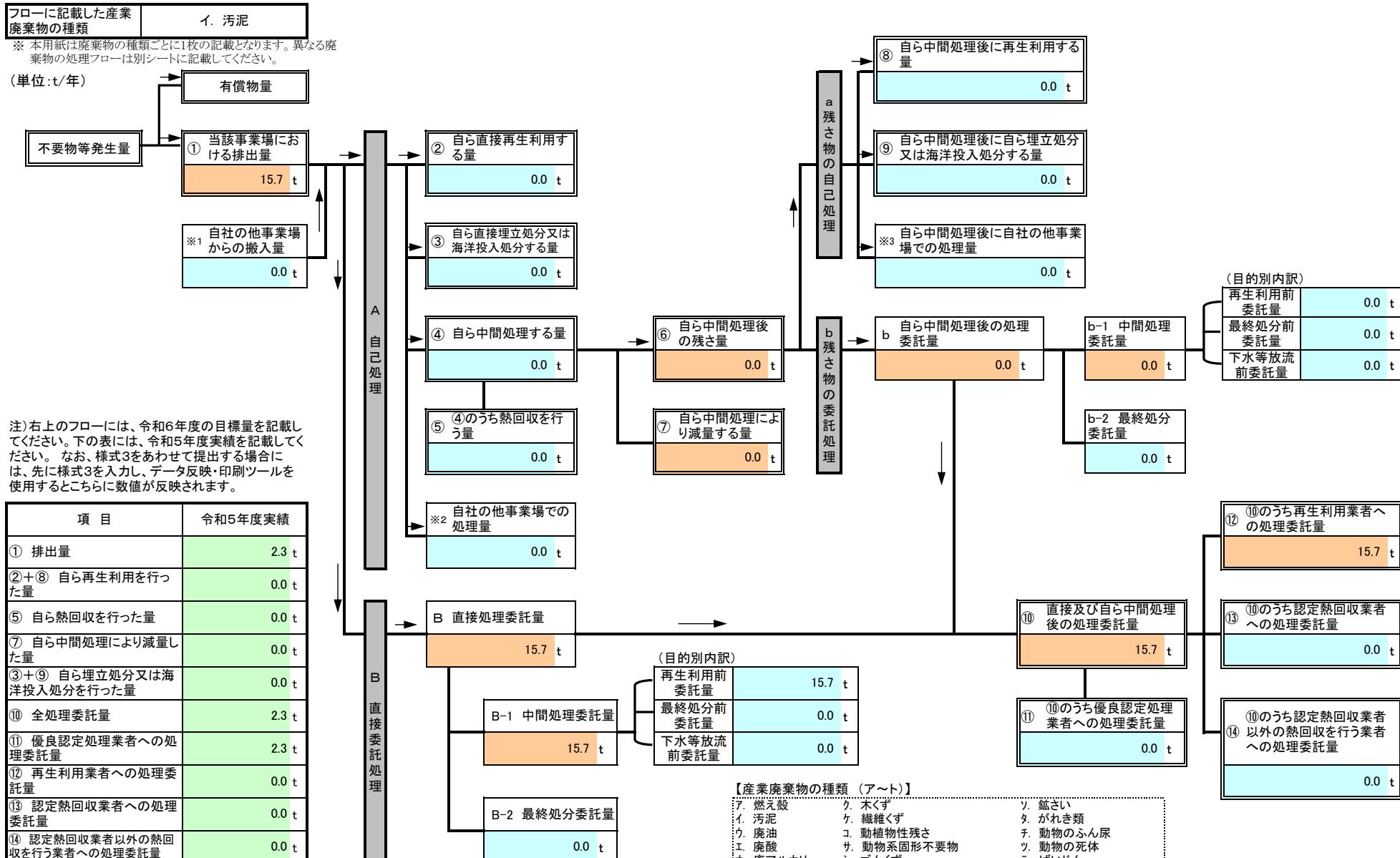
産業廃棄物処理計画書

2-2	法定 ○	自主
-----	---------	----

事業場名称 : 株式会社 KMCT 秦野工場

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

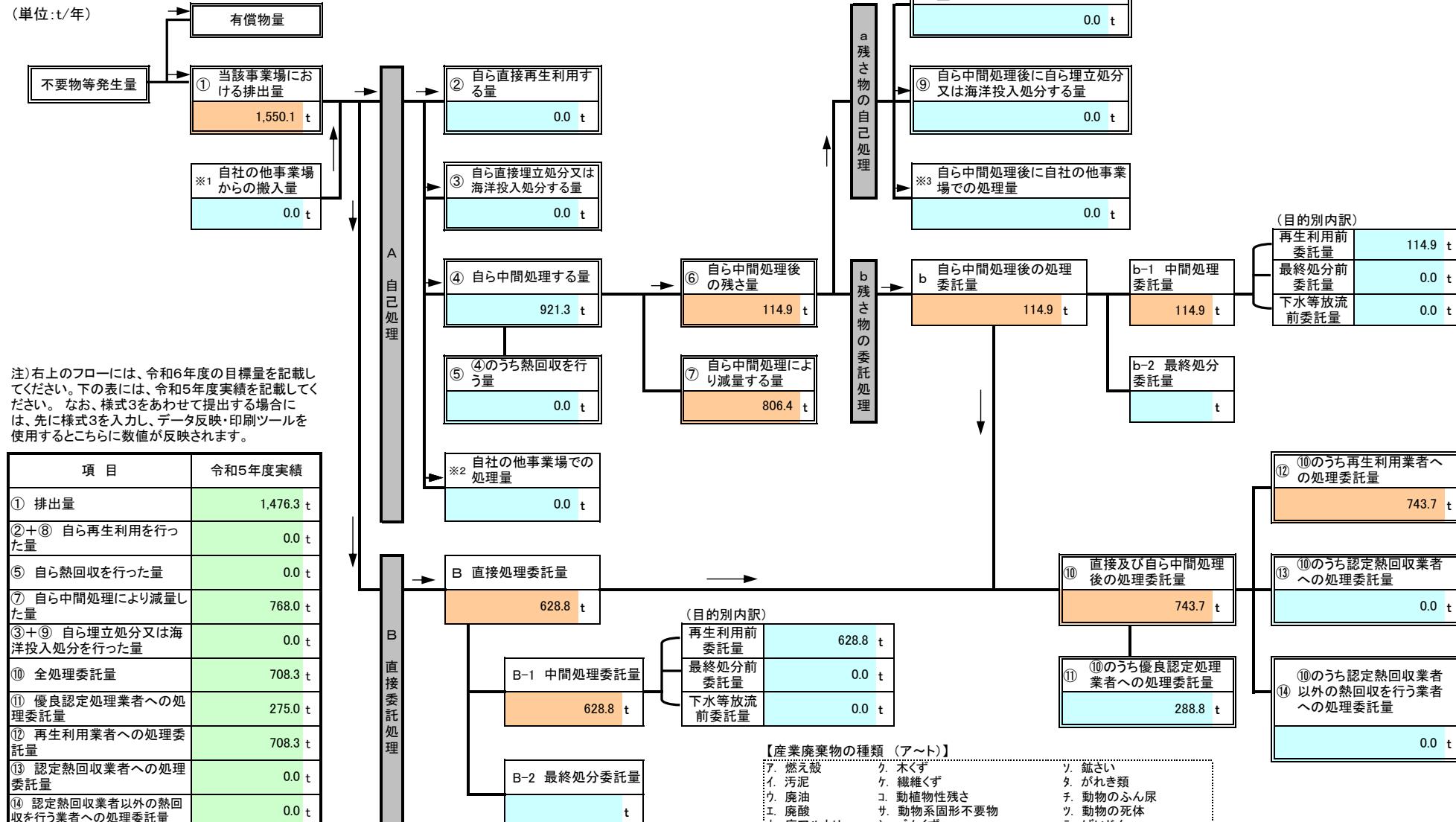
事業場名称 : 株式会社 KMCT 秦野工場

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ウ. 廃油
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。	

(単位:t/年)



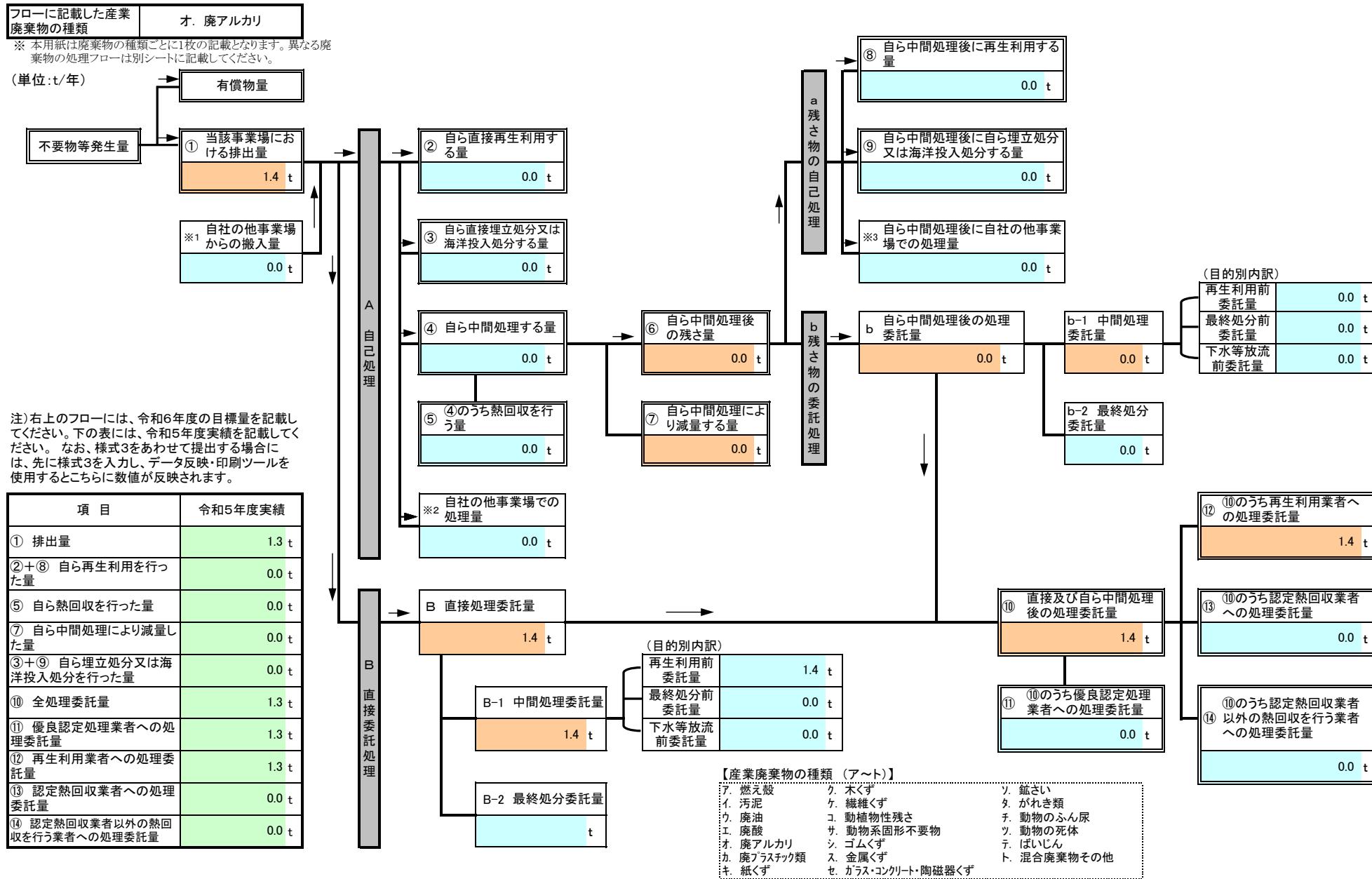
産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : 株式会社 KMCT 秦野工場

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



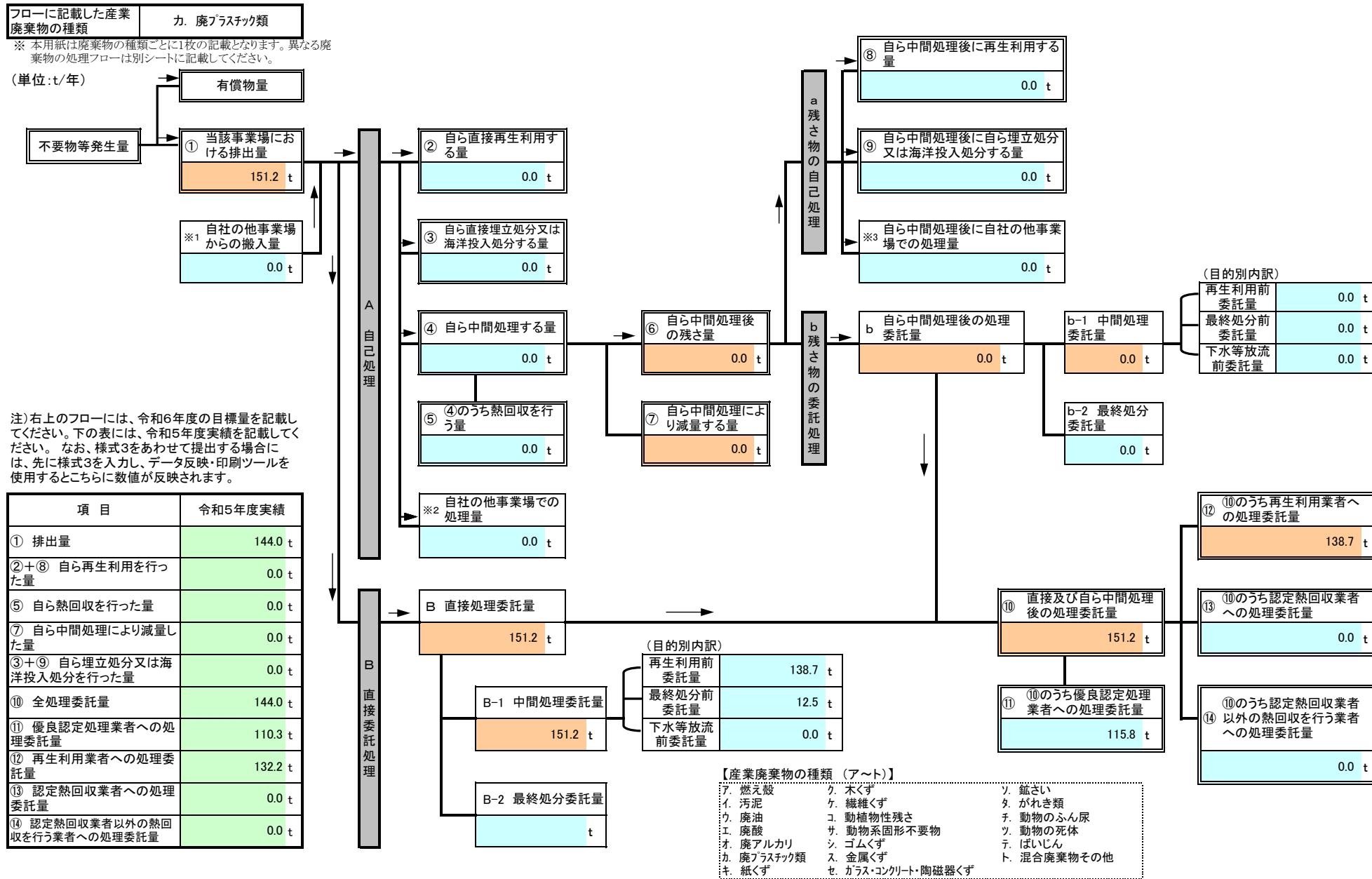
産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : 株式会社 KMCT 秦野工場

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

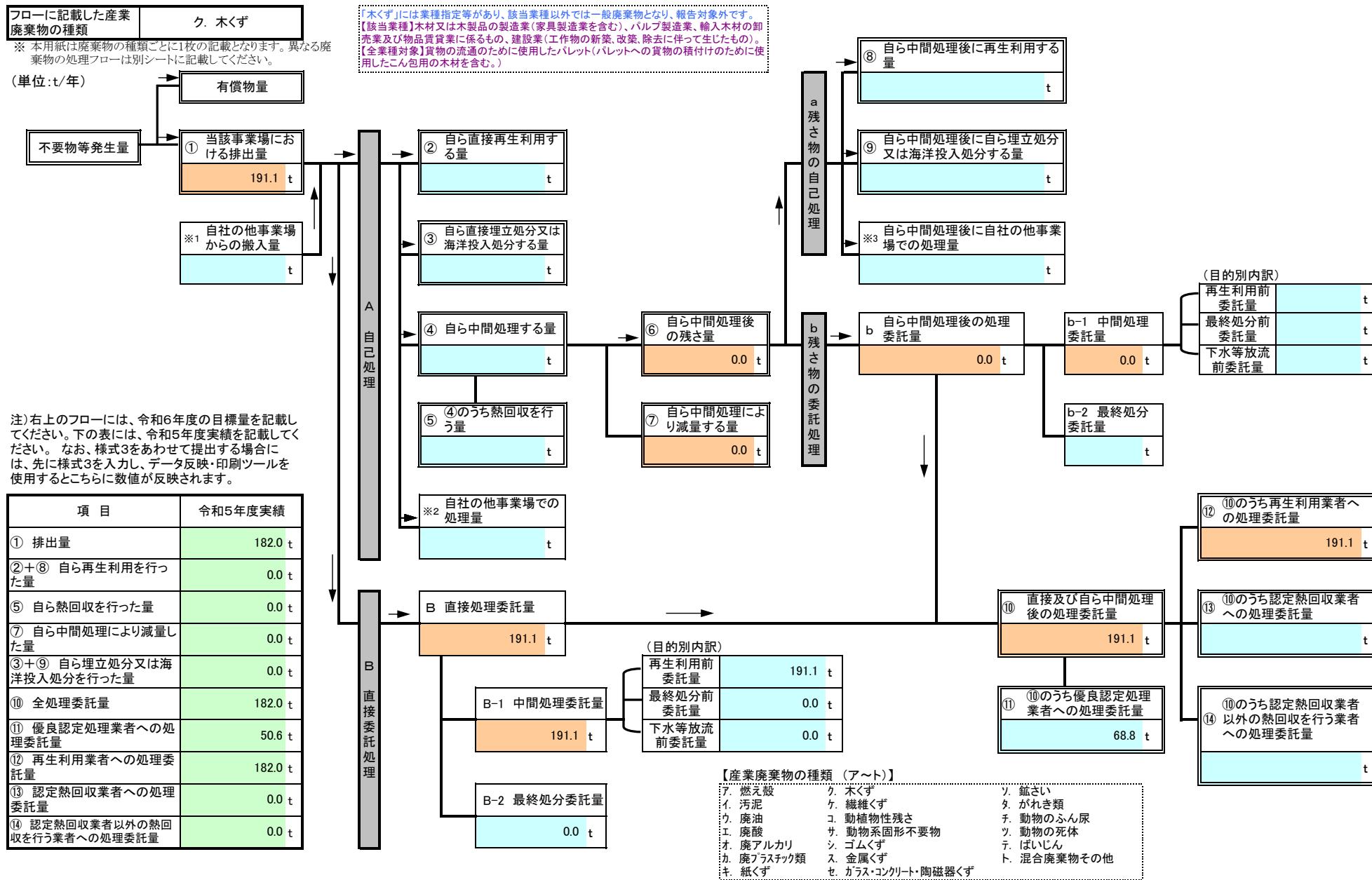


産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

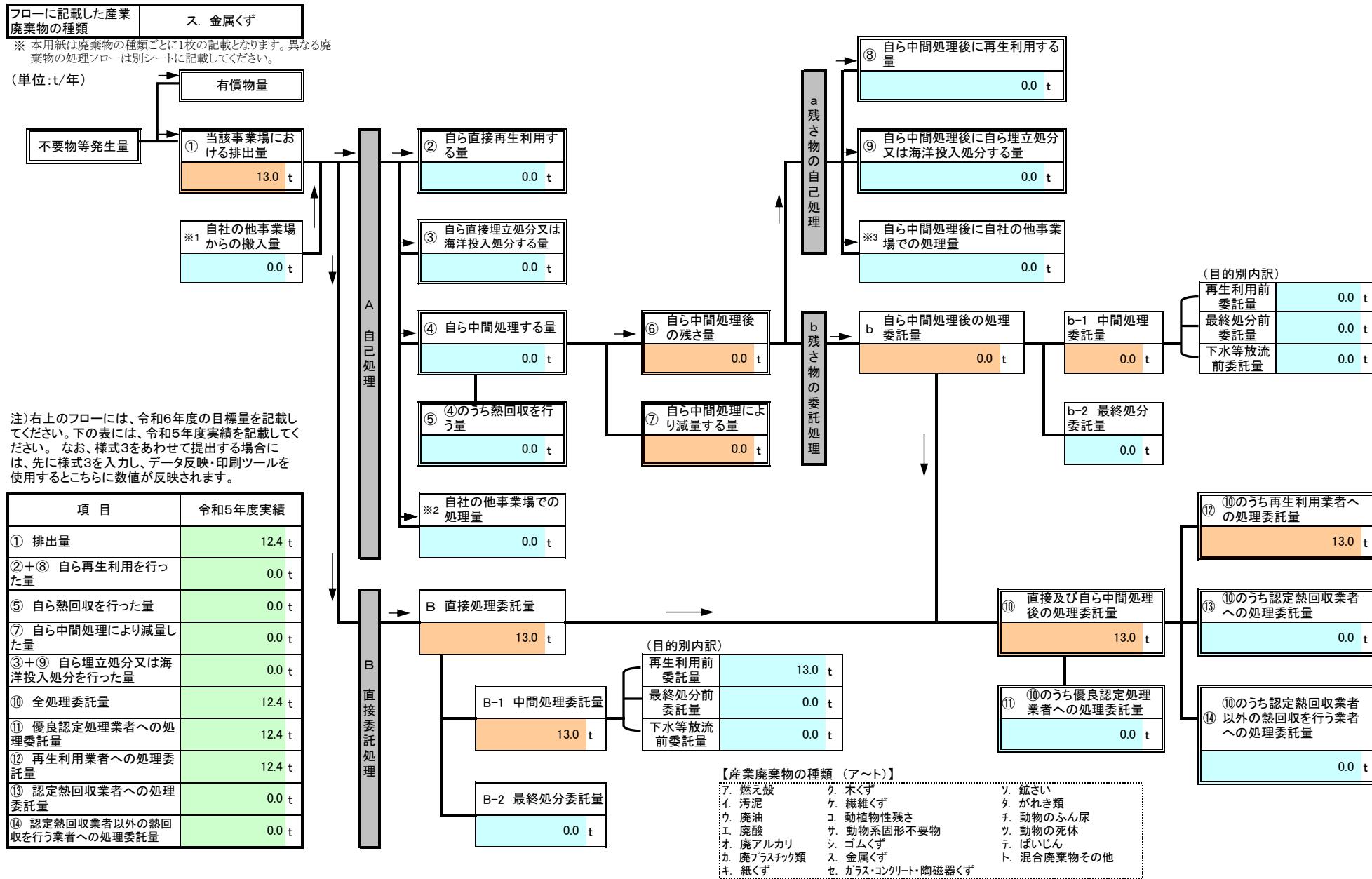
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : 株式会社 KMCT 秦野工場

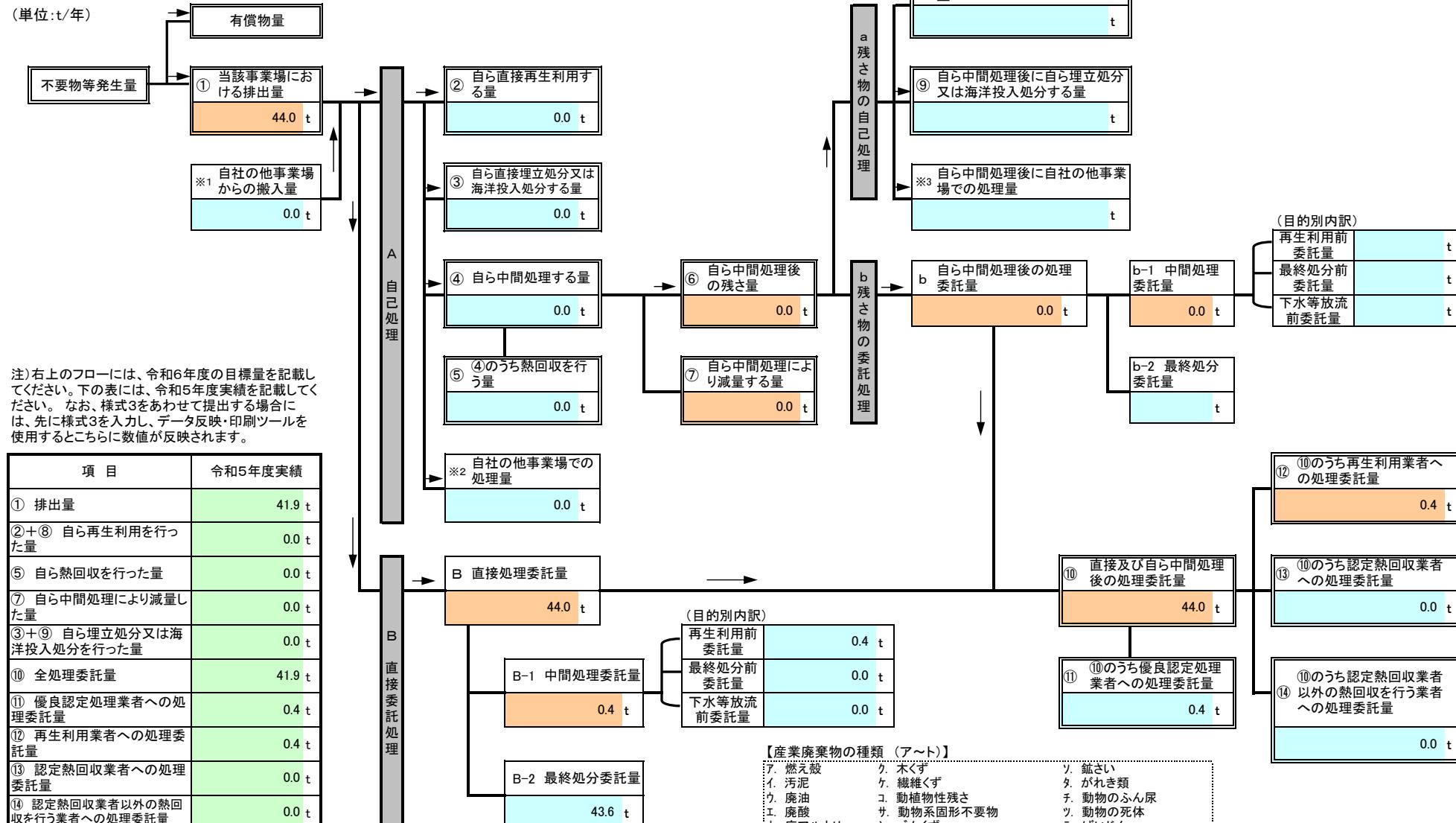
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



産業廃棄物処理計画書

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : 株式会社 KMCT 秦野工場

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	ト. 混合廃棄物その他
------------------	-------------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

